

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名	農業技術センター普及指導部
要望問題名 ナシ黒星病に対する主要EBI剤の耐性検定の実施		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ナシの主要病害である黒星病の防除に多く使用されているEBI剤について、他県で耐性菌が出現しているという成績がいくつか出されているため、本県でも主要なEBI剤についての検定を実施していただきたい。		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター	
備考		

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部・果樹花き研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 診断・同定及び防除技術の確立			
対応の内容等 ナシ黒星病の薬剤感受性検定については、薬剤添加培地を用いた検定での感受性低下菌が分離されたほ場においても、当該薬剤が高い防除効果をしめず現象が報告されており、培地上の検定では、ほ場に分布する耐性菌を正確にとらえることができないことが明らかになっています。そのため、薬剤の効果を判定するには、ナシの苗木など実生葉を使った生物検定を行う必要があります。野菜類の灰色かび病菌の耐性菌検定などに比較して、難易度の高い検定になりますので、時間はかかると思いますが、今後取り組んで参ります。EBI剤の効果が低下したほ場からの菌の収集などについて、ぜひご協力下さいますようお願いいたします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			